

1. 基本事項

作成日 令和02年07月03日(金)

施策		就労環境の整備		期間	H. 30 ~ R. 4	施策担当部課名	商工振興課
第2次総合計画	行政計画分野別名	大項目	200003 活力とにぎわいにあふれるまち(産業振興)	施策の概要 (目的や対象)		市内勤労者の労働環境が維持・向上されることを目指します。	
		中項目	200002 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり				
		小項目	200003 就労環境の整備				
重要度及び満足度の状況	本施策は重要度が高く満足度が低い。求職者の雇用情勢は好転しているが、性別問題、年代問題等個別の分野にある問題点が満足度を下げる要因となっているのではないかと。			施策の推進のための主な取り組み	意欲ある人が働くことができる環境を整える。		
施策を取り巻く社会状況等	人口減少社会を迎え、企業を支える労働者の減少が危惧され、国においては女性や高齢者の就労機会の確保に向けた施策を展開している。また就労先で離職しないよう定着に向けた取り組みが進められている。				安心している働くことができる環境づくりを支援する。		

2. 評価指標

区分	指標名(上段) 算出式・説明(下段)	単位	指標値(上段は目標値・下段は実績値)					
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標	有効求人倍率 <small>熊谷公共職業安定所管内 有効求人数/有効求職者数</small>	倍	-	1.18	1.23	1.28	1.33	1.38
	仕事と生活のバランスがとれている市民の割合 <small>深谷市民まちづくりアンケート</small>	%	-	64.70	65.70	66.70	67.70	68.70
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 一次評価(今後の施策の方向性)

区分	2	1:現状維持 2:拡充 3:縮小
<評価コメント>		
令和元年中を通じて、概ね求人は好調であった。好調の間は通常通りの施策として、例えば女性・男性、ミドル・シニア等関係なく参加対象としているレインボー面接会の開催(県との共催)など、国の雇用施策を補うような施策を実行してきた。だが年度末2月以降、雇用環境に悪化の傾向がみられた。		
	評価者	商工振興課長 佐藤 靖彦

4. 改善・改革プラン(3. 一次評価を受けての具体的な改善策)

区分	具体的な対応策等
<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の拡充 <input type="checkbox"/> 事業の新規立案 <input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小 <input type="checkbox"/> 事務事業の再編 <input type="checkbox"/> その他	新型コロナウイルス感染症の影響による雇用環境の悪化に対しては、国の労働施策の枠組みや、国や県と協力しながら行っている既存の事業を活用することが、規模の大きな事業を展開することが出来るため、効果が高いと考える。そういった事業を積極的に行いながら、それを補完する事業を行っていく。

5. 二次評価

<所属長の見解>	
就労及び労働環境の整備については、国の施策である深谷市ふるさとハローワークと、県の施策であるセカンドキャリアセンターがキララ上柴にあり、事業の共同実施等、連携して事業を進めてきた。また関連団体であるワークメイト大里の事業として事業所における労働者の就労環境の整備等を行っている。この分野については、市単独では情報量等限りがあり、国や県等との連携は重要である。今後も協力して事業を進める。	
所属長	産業振興部長 飯野 勇人